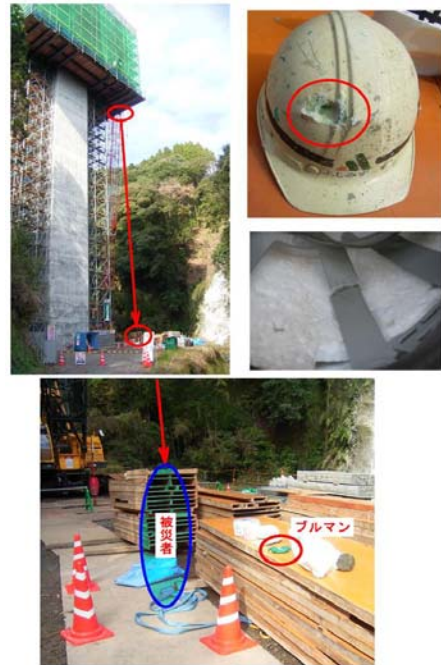
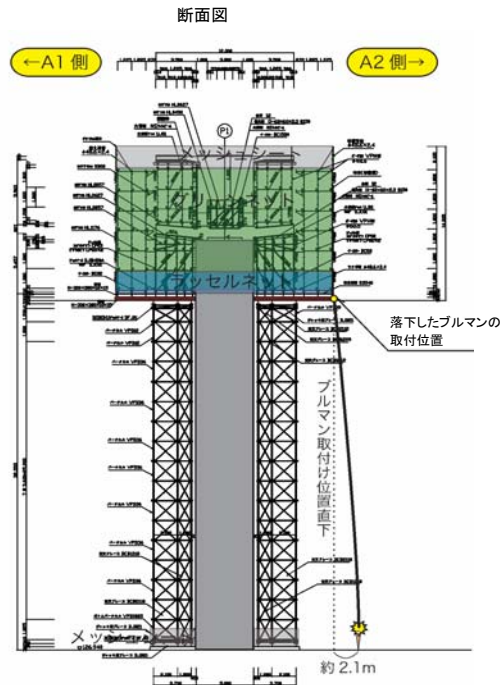
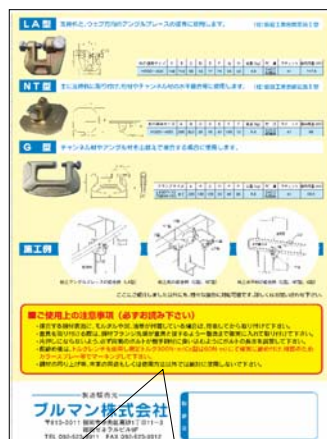
36	事故種類	労働災害	発生日時	平成23年12月10日　11時50分頃	事故当事者	2次下請
	事故区分	労働災害	年齢性別	53歳　男性	職種	型枠工
	被災程度（全治）	頭部外傷　外傷性頭頸部症候群（全治2週間）				
	事故概要	P1橋脚下ヤードで型枠の準備を行っている最中、P1橋脚上の組立完了している支保工から、H鋼挟締金具（ブルマン）が落下し、橋脚下で準備をしていた作業員の頭部に当たり負傷した。				
	事故原因等	・ブルマンの締め忘れがあり、そのブルマンが落下した。 ・全数の締け確認が出来ていなかった。 ・落下した際、防護が無かった為被災した。				
	改善策等	・作業手順・確認方法の見直し ・締付け確認としてトルク管理を行う。 （管理表を作成し、全数漏れなく管理する。） ・上下作業の見直しを行う。		・高所作業車を使用し、全てのブルマンの締め直し ・ブルマン・スティフナジャッキの落下防止のためロープによる緊結 ・H鋼下側にラッセルネットを設置 ・大支柱側面にグリーンネットを設置 ・安全通路上に屋根を設置		
	類似工事（他工事）へ活用できる対策等	点検がされているか目視で（誰でも簡単に）確認が出来るようマーキング等を行う。 挟締金具（ブルマン）を使用する工事については、締付け確認としてトルク管理を行う。				

事故状況図

断面図

ブルマン

改善策

製品カタログ（取扱説明書）

<u>※取扱説明書の遵守</u>
仮締め後は、トルクレンチを使用し規定トルク300N・m（Cs型は60N・m）にて確実に締め付け、確認のためカラースプレー等でマーキングして下さい。

側面図